

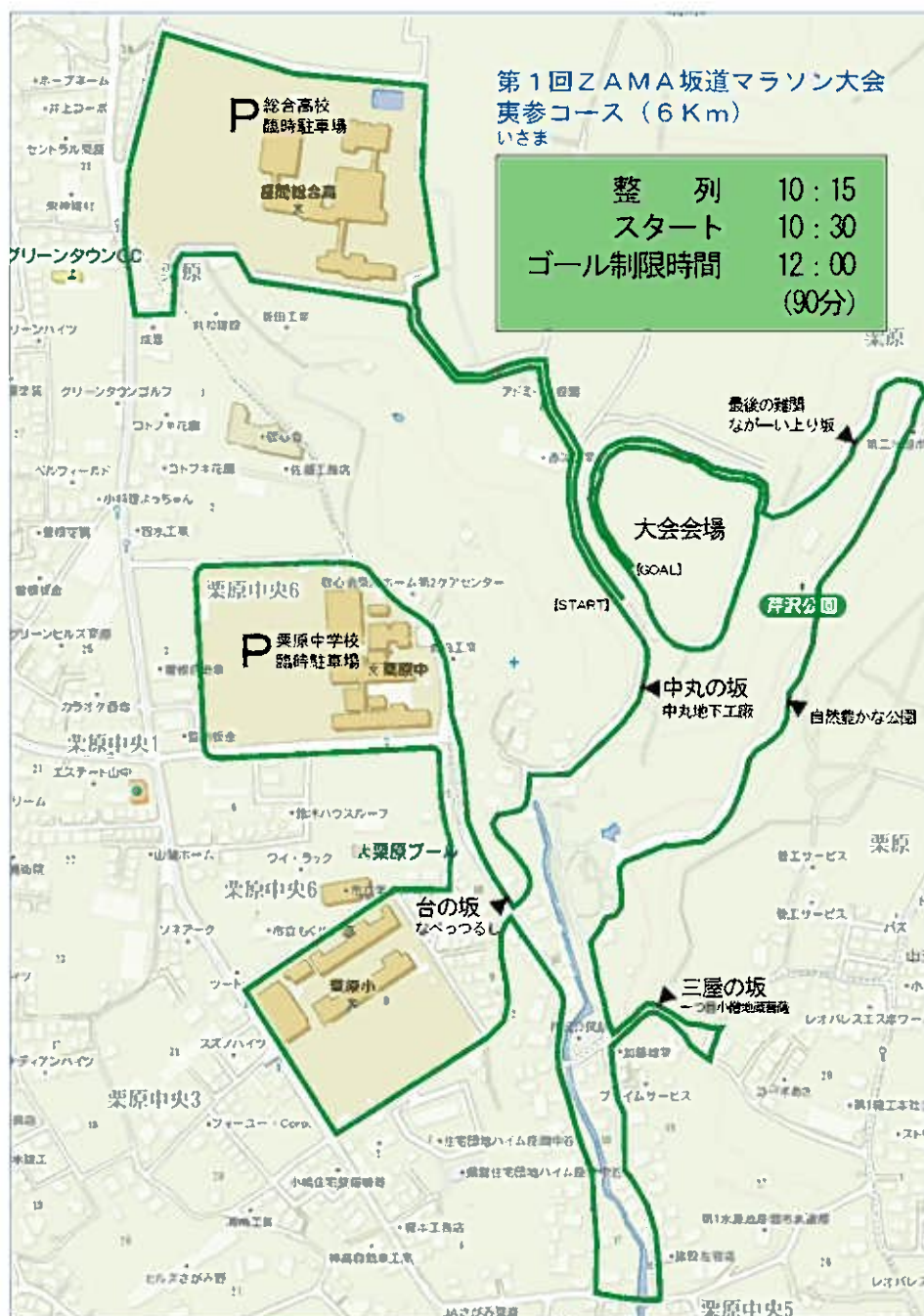


地域らしさを活かした取り組み ～ZAMA坂道マラソン～

座間青年会議所 直前理事長 濱野 真一

第1回ZAMA坂

6 Km夷参コース図



3 Kmひまわり



マラソンコース図

コース図

第1回ZAMA坂道マラソン大会
ひまわりコース（3Km）

整 列	10:05
スタート	10:20
ゴール制限時間	11:20 (60分)



1.8Kmわんぱくコース図

第1回ZAMA坂道マラソン大会
わんぱくコース（1.8Km）

整 列	9:35
スタート	9:50
ゴール制限時間	10:30 (40分)



第1回ZAMA坂道マラソン大会要項

2010年6月6日（日）	
会場	
-	受付：芹沢公園 芝生の広場
-	スタート：芝生の広場
-	フィニッシュ：芝生の広場
種目	
-	夷参（いさま）コース 6km
-	ひまわりコース 3km
-	わんぱくコース 1.8km

今回、座間の地域資源の一つのとも言える『坂』を利用したマラソン大会を開催いたします。

我々の生活の一部となっている「坂のある風景」としての座間。日常ではあまり好まれない坂ではありますが、この資源を有効活用したイベントで市民と幅広く交流をはかり、参加者には座間の地域資源『坂』を再認識してもらいます。

主催 座間青年会議所

後援 座間市（案） 座間市教育委員会（案） 座間市観光協会（案）
座間市子ども会育成会連絡協議会（案）

協力 神奈川県立座間総合高等学校・在日米陸軍渉外広報部・座間市交通安全協会・座間市少女マーチングバンド・座間市内学生ボランティア・座間市立栗原中学校陸上自衛隊座間分屯地曹友会

協賛 (有)座間交通 日産自動車(株)座間事業所 湯快爽快座間店 陸上自衛隊座間分屯地

趣旨 我々の生活の一部となっている「坂のある風景」としての座間。日常ではあまり好まれない坂ではありますが、この資源を有効活用したイベントで市民と幅広く交流をはかり、参加者には座間の自然資源『坂』を再認識してもらいます。

また、人生においての好調・不調を表したり、困難な局面を形容する言葉として用いられる場合もあります。この不況の時代に困難を乗り越え、座間の『坂』から『座間JC』から元気を発信し、誇れる町づくりムーブメントのきっかけとなるよう運営して参りたいと思います。

日時 平成22年6月6日（日）雨天決行

受付 午前8時45分～午前9時15分

第1回ZAMA坂道マラソン大会要項

開会式 午前9時25分～

競技開始 午前9時50分～

閉会式 最終組ゴール後（12時15分頃）

場所 芹沢公園 芝生の広場集合（座間市栗原 2593-1）

※駐車場（駐車場：座間総合高校開門8：30・座間市立栗原中学校開門8：30）は台数に限りがございますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。

座間のおいしい水の水源地として座間八景に選ばれ、かながわの公園50選にも選定されている公園です。「アスレチック広場」には楽しい遊具がいくつもあり、中でも「ロープツリージム」は人気があります。

☆アクセス	○徒歩 相武台前駅より「さがみ野駅北口」行き神奈中バス「栗原小学校」下車徒歩5分 さがみ野駅北口より「相武台前駅」行き神奈中バス「栗原小学校」下車徒歩5分
-------	---

参加資格 小学生以上の健康な方

参加費 一般2000円・学生（小1～高3）1000円

種 目

種目	参加資格	受付	スタート	制限時間	参加料
6 東 キロの 部 参 コース	一般 (小学校4年生以上)	8:45 ～ 9:15	10:30	90分	一般 2,000 円 学生 1,000 円 (小1～高3)
3 ひ キロの 部 ま コース	一般 (小学校4年生以上) ※小学校1～3年生は 保護者同伴		10:20	60分	
1 わ 8 キロ 部の ン コース	一般 (小学校4年生以上) ※小学校1～3年生は 保護者同伴		9:50	40分	

第1回ZAMA坂道マラソン大会要項

- 表彰** 参加者全員に参加賞を贈ります。
- ・表彰式は、各種目男女別に行います。
 - ・各種目上位1～3位入賞者とし賞状を授与します。上位1～3位は賞品も授与します。
 - ・陸上自衛隊座間分屯地司令、特別賞もあります。
- 申込方法** 郵送もしくはFAXで申し込んで下さい。事務局より参加方法をお送りいたします。
- 参加定員** 夷参（いさま）コース 100名
ひまわりコース 100名
わんぱくコース 100名
*定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
- 申込締切** 5月11日（火）必着
- 申込先** 〒252-0024 神奈川県座間市入谷5丁目1858-1
Tel 046-254-7999 Fax 046-254-2828
- 注意事項** ①参加者が事故の場合、レクリエーション保険を適用しますが、各自の責任において事前に健康診断を受ける等、万全を期して下さい。
②主催者は損害、損失、事故については応急処置以外、責任を負いません。
③大会当日、万一体調が悪い場合は出場を取りやめて下さい。また競技中に体調が悪くなった時は勇気を持って直ちにレースを中止して下さい。
- その他** ※駐車場（座間総合高校開門8：30・座間市立栗原中学校開門8：30）は台数に限りがございますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。
※昼食・座間名産品など会場にてお買い求めになれます。

大会に関するお問い合わせ先

第1回ZAMA坂道マラソン大会事務局

〒252-0024 神奈川県座間市入谷5丁目1858-1

Tel 046-254-7999

（火・金／11:00～17:00）

緊急の場合 090-1889-9745（担当者：丸山）

第1回ZAMA坂道マラソン大会

コース上誘導員配置等案

● 必ず配置する交差点 32名

● 誘導員もしくは白線での誘導

— 上り下りをカラーコーン等で区分





第1回ZAMA坂道マラソン大会

コース案内（コース上の3つの坂）

坂とは、山や丘に上ったり下ったりする道の事。言い換えれば、低いところから高いところへ上って行く道路、また反対に高いところから低いところへ下る道路のことを言う。

今回コースに選んだ道は、アップダウンの変化に富んだコースをたどると共に、昔のままの自然が一部残されている。

芹沢地区は、座間のおいしい水の故郷であり、郷土かるたに「芹沢は水の源市の宝」と読まれている。そのかるたの通り、私営水道3本、米軍用2本、計5本の水源井戸が掘られており、文字通り市民一人ひとりの命の源を荷っている地区である。

中丸の坂

■高座海軍工廠（こうざかいぐんこうしょう）

座間市の東部は台地の上にあり、相模野と呼ばれるほとんど平らな土地が広がっています。

ここには太平洋戦争末期、高座海軍工廠という大工場がありました。

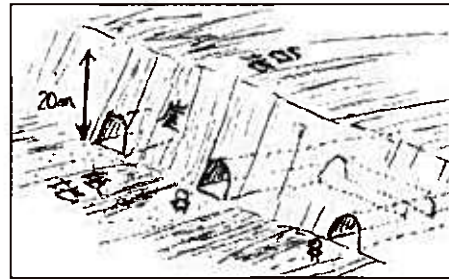
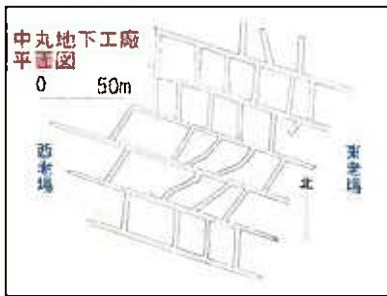
海軍の工廠でありながら海から離れた座間にわざわざ作られたのは、艦船ではなく航空機建造のためです。

戦時中、高座郡は軍都と呼ばれ、その広大な土地の多くを軍が使用していました。相模原から座間北部にかけては（当時是一个の町でした）陸軍が士官学校（現キャンプ座間）、野戦病院（旧国立相模原病院）、練兵場（れんべいじょう：相模台、麻溝台、新磯野、相武台あたりのすべて）などを置き、大和や綾瀬には海軍が海軍航空隊（現厚木基地）を置きました。座間に海軍工廠が敷設されたのはそれらに近かったことに加え、平らな地形と相模鉄道（現相鉄線）があったことが大きな理由でしょう。

■高座海軍工廠 地下工廠跡（ちかこうしょうあと）

広大な工廠は標的になりやすく、昭和19年12月以降、何度も空襲を受けています。それでも戦闘機の製造は止められません。そこで空襲をさけつつ地上での作業を補うため、地下にも工廠が作られました。

栗原中央、南栗原などは平らな台地とそれを目久尻川が20mほど掘り下げた低地からなっています。台地と低地の境目は自然の崖になっていますが、地下工廠はこの崖の一番下から水平に掘り進んで作られています。そのほとんどは広い部屋を持たず（広い部屋は天井を支えきれないからでしょう）高さ3mほどのかまぼこ状トンネルでできています。小中学校の廊下ぐらいの大きさと言った方がわかりやすいでしょうか。



■ 芹沢（せりさわ）の中丸地下工廠（なかもるちかこうしょう）

地下工廠の中でも最もよく保存されているのは栗原中学校のすぐそばにある芹沢公園です。

ここには地下工廠以外にも興味深いものがたくさんあります。たとえば公園中心の芝生広場は中丸と呼ばれていました。中丸をはさんで東西にあるせまい谷はそれぞれ東老場（ひがしろうば：東牢場とも書く）西老場（にしろうば：西牢場とも書く）といいます。中丸の広場の真下に作られたのが中丸地下工廠です。

東西約100mの中丸広場を横切って東老場と西老場の間に6本の地下道があります。これがすべて25m間隔に平行に伸び、それぞれの間にまるであみだくじのような横道が多数張りめぐらされていて、総延長は1500mほどになります。

あみだくじのような形をしているのは、攻撃を受けたとき入り口の近くで爆弾が爆発しても、その爆風がうまくぬけて被害が少なくてすむようにした工夫です。

東西方向の通路のうち、北側の3本は西老場につきぬけていません。また南北方向の枝道は東西方向の通路とは直角に交わずにその多くがほぼ南北に掘られています。しかし中央やや南側ではその方向がかなり違っていたり、カーブを描いています。このような形に作られた理由は謎です。

■ 戦後の再利用

しかし作業が始まって1年で終戦を迎え、工廠は取り壊され、地下の設備も取り除かれました。工作機械は東南アジアに送られて活躍したようです。

一時期、暗くて湿度が高いことを利用してマッシュルームの栽培が行われたこともありました。これがあたって増産を試みた時、カビが繁殖してマッシュルームが育たなくなり、あきらめたのちはまったく使われずに現在に至っています。

壕の壁に材木が刺さったまま腐っているのはマッシュルームを育てた台を支えたものです。



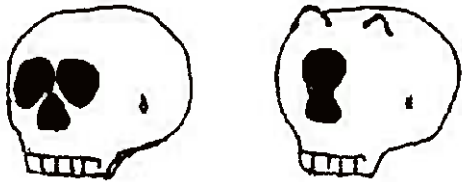
その後ほとんどの地下壕は出入口を埋めてしまいました。平面図の南側にもう一本平行な通路がありますが、これは埋めずに中が見えるようになっています。

入り口の横に解説のパネルがありますので読んでみてください。

三屋の坂

周囲は自然林が鬱い途中左手にはローム層の露出があり、切り通し道のような景観を呈している。坂の名は「三屋の坂」。坂を登りきると墓地がありその一郭に「一つ目小僧地蔵菩薩」の石像があるのに興味をそそられる。

この「一つ目小僧」の話は、今から50年程前の昭和7年6月にさかのぼる。この日、墓穴掘りの当番が黙々と墓穴を掘っていると、一つの頭蓋骨を掘り当てた。祖の頭蓋骨を取り出して見ると、何と眼窩（がんか：眼球の入っている、頭蓋骨の深い大きなくぼみ）が一つしかなく、その上二本の角らしいものが額に生えていたという。その日は、供養し埋め戻したが、一つ目小僧の頭蓋骨が発見されたという噂が広まった。噂を聞きつけた地元の人が真偽の程を確かめるため、種々の手続きを取り8月に再発掘をし、前途の噂の事実を確認した。掘り出された頭蓋骨は一旦専福寺に預け、後に崇福寺に移され埋葬されたというのが、現在その場所是不明である。



この一つ目小僧らしい人物は、いつの時代のことが不明だが、諸所を放浪し行き倒れとなり、山犬等におそわれ果てたものではないかと推定される。死骸を発見した近くの人たちが、この墓地に手厚く葬ったのであろう。また、墓地の持ち主が信仰の深い人で、一つ目小僧が安らかに成仏するように、「一つ目小僧地蔵菩薩」を建立し供養したものである。この話は謎にまつまれた話で、資料等の裏付けもなく、伝承的な話で「一つ目小僧」伝説と結び付けられて協に至っている。

台の坂

栗原中学校から芹沢へ下るゆるやかな坂道の途中に十字路があります。そこには昔、恐ろしい「なべつつるし」というおばあさんがいたという話があります。

なべつつるしの伝説

そのおばあさんは四つ辻付近の山の中に住み、よれよれの服にぼさぼさの白い髪をたらし、鍋を藤づるで木からつるして獲物を待ちます・・・

夕方薄暗くなった頃、たまたま子どもが坂を通りかかったらつかまえ、あっという間につるしてあった大きな鍋に入れてグツグツ煮て食べてしまうのだそうです。鍋をつるしているからなべつつるしと呼ばれ、芹沢あたりの子どものにとっては最大の恐怖だったようです。

ただ、いつの頃のことかというとはっきりはしませんが、昭和の十年代までは語り継がれていたとか・・・



■なべつるしの場所

栗原中学校の東端から芹沢の集落へくだってくる現在の道路は、自動車のために最近つくられたもので、昔の坂道は下の写真の石垣に沿っていました。そこには今でも一人がやっと通れる細い道がありますが、ここが道であることはもはや地元の人でもほとんど知りません。

宅地化が進んで木も切られましたが、ちょっと前までは新しい道を自動車でも通っても薄暗い感じがしました。こんなところに鍋をつるした老婆が隠れている・・・と言われたら確かにいそうにも見えました。



■なべつるしは実在したか？

そんなおばあさんがいたら怖いですね。ひょっとして過去に本当にそんな猟奇的殺人事件があったのでしょうか・・・。

いやいや、おそらくは夕方遅くまで遊んでなかなか帰ってこない子どものことを心配した親が、いじめのために作った話ではないかと思うのですが、どうでしょう？

だいいち鍋を木につるし、必要なときにおろすなんて実際にはとっても面倒ですよね？

今や有名ななべつるし

なべつるしは芹沢の一部に言い伝えられていた話で、地元でも知っていた人は多くなかったといえます。場所があまりにも具体的ですが、これはお話を「作った」ご家庭の子どもの通り道だったからでしょう。

参考資料：座間市教育委員会「座間の坂道橋」・座間の歴史探検まめこそうの旅

第1回ZAMA坂道マラソンを振り返って

～座間青年会議所事業報告書から抜粋～

1. 事業報告

我々の生活の一部となっている「坂のある風景」としての座間。日常ではあまり好まれない坂を有効活用したイベントで参加者と幅広く交流をはかるとともに、行政・一般ボランティア・協力団体の多大なる協力のもと無事例会を開催することが出来ました。

2. 実施日時・期間

2010年6月6日(日) AM8:45～PM12:30

3. 実施場所・会場

芹沢公園 芝生の広場集合

4. 参加者・対象者

《参加者》

参加申込数 352名 (市内287名・市外65名)						
コース	6K夷参コース		3Kひまわりコース		1.8Kわんぱくコース	
性別	男子	女子	男子	女子	男子	女子
大人	73	4	34	13	29	38
学生	13	12	28	18	28	29
小計	86	13	62	31	57	67
合計	99名		93名		124名	
総計	316名					

《スタッフ》

正会員	シニアクラブ	曹友会	旧友会	一般ボランティア
30	10	30	8	28

《イラスト》

応募者数	58名			
表彰	最優秀賞	優秀賞	優秀賞	優秀賞
名前	吉山 みすみ	藤山 悠	小野 愛美莉	久保田 美能
住所・年齢	横浜市・41才	座間市・20才	座間市・13才	座間市・31才
大会への参加	○	×	×	×

5. 後援・講師・外部協力者

《後援》

座間市	座間市教育委員会	座間市観光協会
座間市子ども会育成会連絡協議会		

《外部協力者》

陸上自衛隊座間分屯地曹友会	座間総合高等学校(駐車場)	座間市少女マーチングバンド
座間市栗原中学校(駐車場)		

第1回ZAMA坂道マラソンを振り返って

～座間青年会議所事業報告書から抜粋～

《協賛》

物品協賛	森永乳業	ジャックス	湯快爽快	座間市	自衛隊			
協賛1	座間交通	日産						
協賛2	旧友会	日産	ニッパイ	居酒屋やま	都南自動車	かおる工業	市民聖苑	焼肉牧場

*協賛1：¥10,000 協賛2：¥25,000

《広報》

座間JC HP	広報さま	近隣ロム
妙ニュース 告知×1 記事×2	座間JC事業 過去参加者	FM横浜
座間走ろう会	芹沢公園利用者	座間市観光協会HP

6. 反省

初めての大会ということで申込が募れるかという不安や、公共の場を利用して運営することのむずかしさ、またマラソン大会を経験されている団体の毎回抱えている課題などを聞き様々な課題をクリアし第1回としてはまずまずの運営することが出来たのではないのでしょうか。改善すべき点は多々ありましたが、定員の300名を超える市民（8割が市内の方）の方の参加、アンケートをいただいた参加者のほとんどからは来年の開催を期待されたことから、全体として成功と捉えています。参加者からも多数のアンケート「参加者の声」をいただきました。また委員会だけの反省会ではなく、大会終了後、曹友会・旧友会を含め全体での反省会も行いう事が出来ました。

参加者からのご意見

- ・秋から本格的に大会が始まるので、様々なレースを視察してみては？
- ・6月よりちょっと早めの5月ぐらいでも良いと思う。
- ・JCを知らずに参加したのですが、参加して初めて知ったのですが、世界的にも歴史があるJCをもっとアピールしたらよいと思う。

良かった点

- ・10秒ごとのスタートは、とても走りやすかった。
- ・マーチングバンドが非常に良かった。
- ・大会を継続していただきたい。将来はZAMAロードレースとして座間の名物を作って欲しい。（3km・5km・10km・ハーフ）
- ・ボランティアの方々の応援で頑張ることができた。

メンバー及びボランティアの皆様からの意見

警備係

- ・地域社会との交流をするにあたりもっと自衛隊の方々と一般の方々との交流を持ちたかった。
- ・JCの略を一般の方から質問された。
- ・警備もスタートとゴールの熱を感じたかった。

良かった点

- ・警備の応援がランナーの力になった。
- ・ランナーに対してのコース誘導がよかった。
- ・コース上の矢印、警備の配置番号があり分かりやすかった。
- ・地域の方々とコミュニケーションがとれた。
- ・それぞれ各自にあったコース選択ができたのがよかった。

第1回ZAMA坂道マラソンを振り返って

～座間青年会議所事業報告書から抜粋～

スタート・ゴール・ゼッケン・タイム・集計係

良かった点

- ・10秒おきのスタートだったため混乱しなかった。
- ・パソコンや簡易プリンターなどを使ったのは成功だった。いままでアナログでやっていた事を変えていかないと、これから会員が減少する中、余計な人工ばかりかかってメンバーに負担がかかってしまう。新しいことにチャレンジできたことは良かった。
- ・最後尾に自衛隊の方が付いてくれていたので、大変分りやすかった。
- ・ゴールするランナーを迎える雰囲気が良かった。

その他の意見

- ・スタートの演出があった方がよいのでは？

本部・救護・受付・荷受係

その他の意見

- ・マーチングバンドの方々にもう少し見せ場を作ってあげた方が良かったと思う。
- ・救護用タンカの準備
- ・受付マニュアルがあったほうがよい。
- ・佐藤副局長の頑張り（ドッチボールなど）を忘れてはならない

様々な御意見をいただきました。中でも参加者からは他大会を研究し座間の名物大会を作ってほしいという御意見をいただきました。主催者サイドとして本当にうれしい事です。

7. 今後の課題・次年度への引継事項

成功と捉えた裏にもやはり改善すべき点は数多くありました。運よく回避できたことや荒っぽさが目立ってしまった運営準備など様々な御意見を真摯に受け止め、次回以降の開催があれば重要課題と捉え改善出来ればと思います。

参加者からのご意見

- ・更衣室があればよかった。（特に女性の更衣室）
- ・救護体制に問題があったのではないかと（熱中症に対応できる者がいない。擦り傷の応急処置については、消毒液は使わない。応急手当の常識ではナンセンス。）専門家を配置した方がよい。
- ・振込手数料については、銀行より郵便局の方の振込の方が安いので、郵便局にして欲しい。また、青年会議所の事務局へ直接持っていくことは出来ないのか？
- ・特別賞は、4位の方ではなく、大会で記憶に残る方を表彰した方がよいのでは？
- ・仮設トイレが必要。
- ・座間走友会などの後援を依頼した方がよいのでは？

メンバー及びボランティアの皆様からの意見

警備係

- ・事前全体会議に参加出来なかった人への説明不足。
- ・地域住民の方々への説明不足
- ・給水所が在った方が良かった。
- ・大会中の進入車両へのUターン場所、迂回路の説明が出来なかった。
- ・危険な場所には、警備員（有料）を配置しても良いのでは？
- ・規制解除のタイミングがわかりづらかった。
- ・当日の花火の苦情があった。

第1回ZAMA坂道マラソンを振り返って

～座間青年会議所事業報告書から抜粋～

- ・応急処置の必要などきの連携がとれてなかった。
- ・コースの責任者とは別にサブリーダー的な人を配置した方がさらに細かい連携がとれる。
- ・一般ボランティアの集合時間をもう少し遅らせても良いのでは？
(手持ち無沙汰だった。)
- ・コース上で、急カーブするポイントに雑草があり少々危険を伴った。
- ・通行車両の迂回の理解を得るのが通行止めにしないと難しい。
- ・警備の配置はその会で纏めずばらしても良いのでは？
- ・朝、各班でミーティングの時間が出来なかった。
- ・大会終了後の駐車場警備、トイレ掃除の説明が曖昧だった。

スタート・ゴール・ゼッケン・・タイム・集計係

- ・10秒ごとにスタートするルールを理解できない小学生もいた。
- ・スタート前の並べ方でコースを塞いでしまった。
- ・スタート、ゴールの看板があつて方がよかった。
- ・ひまわりコースのゼッケンが見にくかった。
- ・時間差のスタートだったので、ゴールがばらけたので確認しやすかった。
- ・閉会式までの表彰状の印刷が遅かった。
- ・申込時に性別の記入欄がなかったため、名前による性別判断ができず戸惑った。
- ・ゴール後ランナーの方々が時間と順位を知りたがっていた。事前に説明をしておく必要があったのでは？
- ・一番疲れている、ゴール20～30m前ぐらいから声援をおくった方が良かった。

本部・救護・受付・荷受係

- ・Tシャツをたたまずに渡してしまった。
- ・参加者リストにふりがながあつた方が良かった。
- ・救護はやはり専門家を用意した方がよい。
- ・万が一のことを考えて救急車の経路は場所毎に考えておいた方がよい。
- ・当日参加者への対応が不十分。
- ・受付の人数が不十分。(団体で来たときのことを考えて…)
- ・予備のゼッケンの説明が無かった。
- ・受付リストに備考欄を設けた方がよかった。
- ・当日参加費徴収のおつりが不足。
- ・当日受付のTシャツの対応について説明不足。

開会式・閉会式

- ・閉会式開始までの時間が長い。表彰状の作成が遅い。
- ・閉会式が長かった。
- ・表彰する前に、表彰者の介添えが必要だった。
- ・メンバーとボランティアの方との合同開会式があれば一体感がもてたのではないかな？



第1回ZAMA坂道マラソンコース図

6 Km爽参コース図



3Kmひまわりコース図



1.8 Kmわんぱくコース図











